

一般質問(2)

今後の特別支援教育
エコと環境教育

小峰 和美(無所属)

質問 特別な教育的支援を必要としている児童・生徒一人一人のニーズに応じた指導を進めていくためには発達障害への理解を深めるとともに、適切な指導・支援を行う教員の知識・技能を高めることが重要である。さまざまな障害種別に応じた指導方法や支援内容、教育相談等、多岐にわたる研修の充実を図るべきだ。

答弁 教員が実践的な指導力を身につけるよう、医師や心理の専門家等を講師として活用するなど、専門性の向上を図るとともに日常的な研修も充実していく。

質問 環境教育は自治体の指針等を上手に組み合わせ、

30人学級を基本として検討を
学校施設適正規模・適正配置

安斉 慎一郎(共産)

質問 文部科学省は8月27日、2011年度から8年間で公立小・中学校の1クラスの児童生徒数の上限を、現在の40人から30人ないし35人に引き下げる計画案を決定した。教職員も2万人増員することだ。これ



学校帰り

目標を立てて主体的に取り組めることが児童生徒をやる気にさせると考える。

答弁 総合的な学習の時間、各教科の授業の中で環境問題を取り上げ、環境に配慮した行動ができる児童・生徒を育成していく。

質問 市民ができるエコへの取り組み、市は何を啓発するのか。

答弁 自然環境の減少や地球温暖化といった問題など多種多様な環境対策を講じる必要性がある。良好な環境を次世代に引き継ぐため環境問題に関する啓発を図り、市民の関心や理解を深めていく。



好評のエコ・クッキング講座

認可保育園の新設で待機児解消を
教室へのクーラー・熱中症対策を

倉根 康雄(共産)

質問 市立保育園の建てかえや改修による定員増、私立認可保育園の開園など、待機児対策について伺う。

答弁 保育園は、これまでも定員の弾力化や老朽化による建てかえ等により入所

していきたい。

質問 学童クラブ児童の帰宅時に交通擁護員を配置せよ。

質問 交通擁護員のいない時間、本町小学校の校門につながる信号機で、横断歩道の信号が赤のとき、車が次々と走行していく間を小学3、4年生の児童が走り抜けて道路を横断する場面に出会った。私が運転する車の7、8台前のことで、児童は無事道路を横断し、すぐに見えなくなったが、改めて交通擁護員の配置が必要と思った。6月の定例会でもこの問題を取り上げたが、その後何らかの対策はとったのか。

答弁 学童クラブ児童の帰宅に際しては、指導員が信号機のある横断歩道まで交通安全指導の一環として見送りをしている。

介護保険利用料の非課税世帯への
減免制度創設を!

藤岡 智明(共産)

質問 介護保険利用料の重い負担を理由にサービスの利用を抑制している人が約8割という調査結果がある。多摩26市中12市で非課税世帯の利用料減免を実施している。当市でも利用料の軽減、減免制度創設を求める。

答弁 介護保険運営協議会でも意見をいただいております。第5期介護保険事業計画策定に向けて検討を進めます。失業者の国保料減免について

質問 失職、休廃業などで所得が激減した際の国民健康保険料を軽減する。国民健康保険料を軽減する。国民健康保険料を軽減する。

質問 現在の保育水準を確保し、よりよい保育を望む。今夏の猛暑で小・中学校へのクーラー設置の必要性がより高まった。緊急に対応せよ。



緑のカーテンによる猛暑対策

学校図書専門員の常駐・就学援助
制度の周知徹底と拡充を求める

保谷 清子(共産)

質問 平成21年4月から実施回数が増えた妊婦無料健診は今年度限りだ。来年度も継続するよう国や都へ働きかけよ。継続不可能な場合は、市独自事業として検討せよ。

答弁 東京都市長会で国や都に継続の要望を行っている。市独自事業としては、財政状況を見て検討する。

康保険料減免取扱要綱に基づき保険料の減免を求める。

質問 相談の内容によっては生活保護の案内をし、要綱に則した適正な運用を図り、無保険者を出さないようにする。

質問 複雑化する地域課題には、市民と連携した取り組みと説明責任を!

質問 障害者就労支援と次期障害者基本計画について。庁内の障害者雇用を努める。切れ目ない支援と障がいへの理解は不可欠だ。透明性を担保し適正に行えるよう検討をする。

質問 地域コミュニティ活性化を推進する市の役割は。基礎調査と市民意識調査完了後、市民等を含めた検討を考えた。行政は市民活動の主体性を尊重し後押しせよ。

質問 子育て世帯の貧困化が広がり、就学援助制度の拡充が求められている。板橋区では制度の周知や手続方法を工夫し、制度の充実が図られている。

気ループ装置の市内公共施設への設置状況と周知について伺う。

答弁 こもれびホール、コイル田無等に設置。積極的に周知し利用を図る。また、建設中の(仮称)障害者福祉総合センター多目的室にも設置し、携帯型磁気ループを同センターや下保谷福祉会館(10月開館)に配置する。貸し出しも検討する。

質問 板橋区の状況を調査し、参考にしていく。

質問 本市の教育計画には「小・中一貫校の検討」とあるが、既に小・中一貫校を実施している品川区、三鷹市などでは学力差が開くなどの問題が起きている。慎重な対応を望む。

質問 「小・中一貫校」には「ありき」とは考えていない。慎重な姿勢で臨んでいく。

答弁 「小・中一貫校」には「ありき」とは考えていない。慎重な姿勢で臨んでいく。